

敗北を抱きしめて(ジョン・ダワー)、美しい国へ(安倍晋三)…
11年間の日本論・日本人論を俯瞰できる文献ガイド

文献目録 日本論・日本人論

1996-2006

日外アソシエーツ編集部 編



9784816920509

A5・740頁 定価26,000円(本体24,762円) ISBN978-4-8169-2050-9 2007年6月刊行

日本文化論、国家論、日本研究など 12,780件を集大成

■1996～2006年に発表された日本論・日本人論に関する図書・雑誌記事を集大成した文献目録です。『文献目録 日本論・日本人論の50年 1945～1995』(1996.12刊)の継続版。

■日本文化論、国家論、海外の日本研究など様々な視点から書かれた12,780文献を著者別に一覧できます。また、論文集や随筆集の著作や、対談集・座談会での発言者も調べられます。

■「武士道」「恥の文化」「日本叩き」「希望格差社会」などのテーマから引ける「事項名索引」付き。

収録文献例

青木保『「日本文化論」の変容—戦後日本の文化とアイデンティティ—』(中央公論新社/1999年3月) 網野善彦『日本とは何か』(講談社/2000年10月) 石原慎太郎「世紀末日本人への警告」(『サンデー毎日』78(2)/1999年1月) 呉善花「日本が嫌いな日本人へ」(『THE21』連載) 加藤周一「戦争責任と『雑種文化』再論」(『論座』93/2003年2月) 河合隼雄『「日本人」という病』(潮出版社/1999年1月) 司馬遼太郎『この国のかたち 6』(文芸春秋/1996年9月) 副島隆彦『属国・日本人論』(五月書房/1997年5月) 土居健郎『続「甘え」の構造』(弘文堂/2001年2月) 船曳建夫『「日本人論」再考』(日本放送出版協会/2003年11月) …など12,780件

小熊 英二

【内容見本】

01001 「国民」化という支配—多民族帝国としての「日本国民」概念(1996年度歴史学研究会大会報告—〈近代史部会〉〈われわれ〉と〈かれら〉—自他認識という近代の経験): 歴史学研究 690 1996.10 p101~110

01002 「日本人」という牢獄(【特集】記憶をめぐる闘争・「自由主義史観」という病): 情況 第二期 8(3) 1997.4 p67~840

01003 〈日本人〉の境界—沖縄・アイヌ・台湾・朝鮮植民地支配から復帰運動まで 新曜社 1998.7 778p 22cm 5800円 ①4-7885-648-3

【内容】 話題作『単一民族神話の起源』から三年。琉球処分より台湾・朝鮮統治をへて沖縄復帰まで、近代日本の100年にわたる「植民地」政策の言説をつぶさに検証し、「日本人」の境界とその揺らぎを探究する。

01004 座談会 戦争と記憶—日本社会の現在(特集 戦争と記憶) (藤原帰一, 小熊英二, 阿部浩己): 神奈川大学評論 36 2000 p2~32

01005 徹底討議 「日本」からのエクソダス(村上竜, 小熊英二): 文学界 54(8) 2000.8 p10~46

01006 〈民主〉と〈愛国〉—戦後日本のナショナリズムと公共性 新曜社 2002.10 966p 22cm 6300円 ①4-7885-0819-2

既刊

●図書・雑誌記事11,300点収録

文献目録 日本論・日本人論の50年 1945～1995

A5・610頁 定価20,370円(本体19,400円) ISBN4-8169-1404-8 1996.12刊

2007.5

●お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業本部 TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845

■貴店名	注文書	文献目録 日本論・日本人論 1996-2006 定価26,000円(本体24,762円) ISBN978-4-8169-2050-9	冊
		■お名前	冊